

経営比較分析表（平成29年度決算）

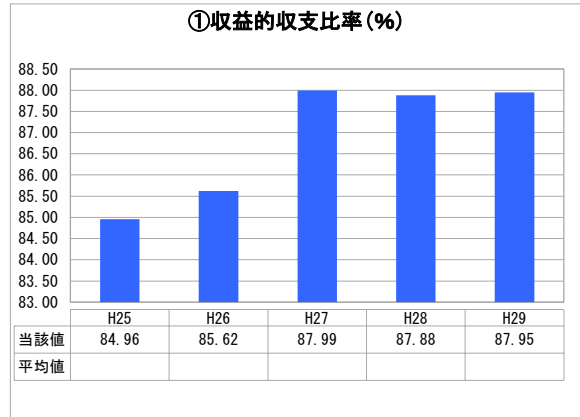
兵庫県 たつの市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.14	100.00	1,782

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
77,499	210.87	367.52
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,652	0.27	6,118.52

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



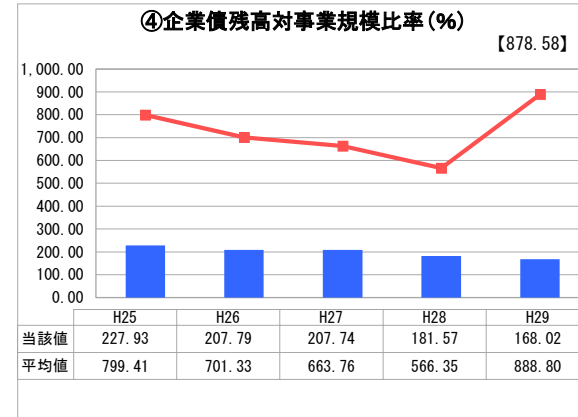
「単年度の収支」



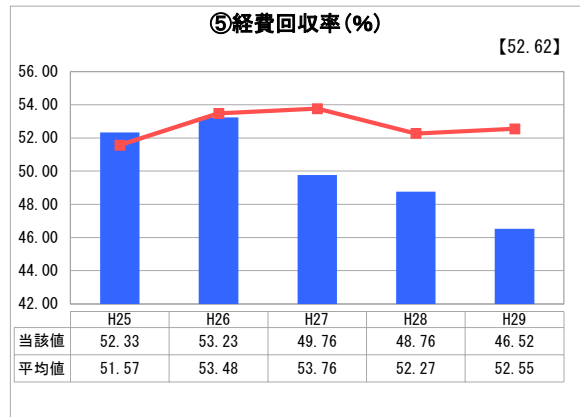
「累積欠損」



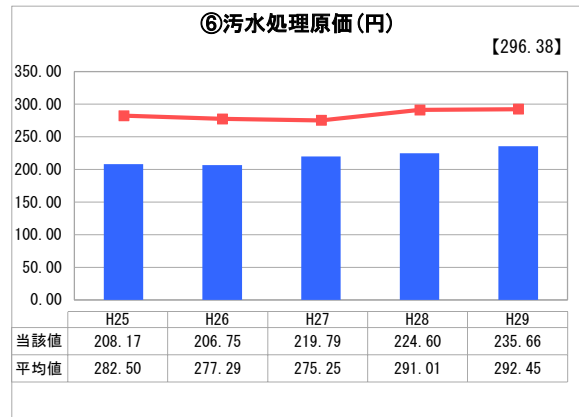
「支払能力」



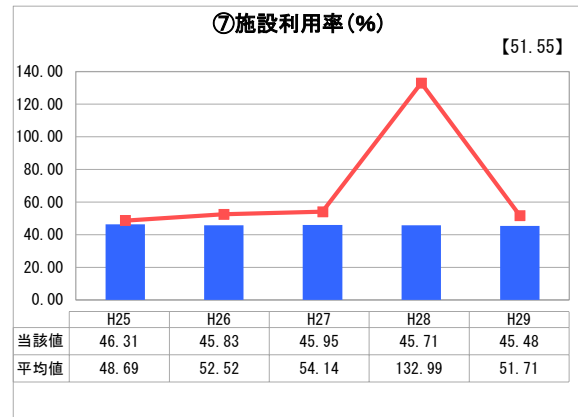
「債務残高」



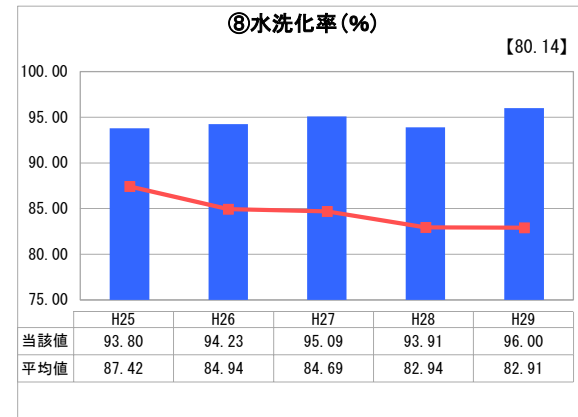
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

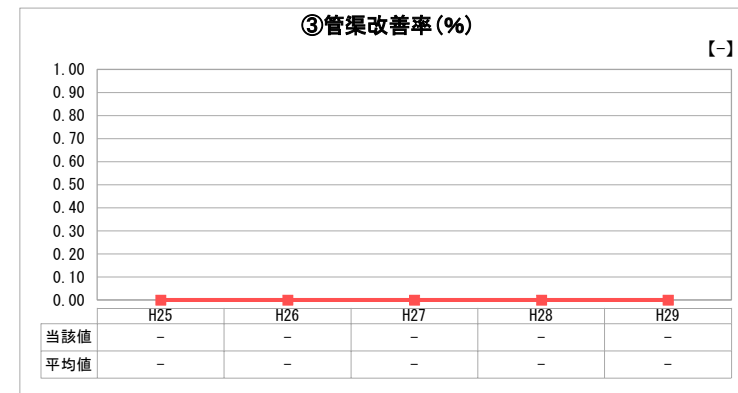
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①（収益的収支比率）収益的収支比率が100%未満の横ばいで推移しているため、さらなる経営改善に努める必要がある。

④（企業債残高対事業規模比率）類似団体平均値と比較して概ね1/5となっているものの、老朽化対策による施設等の更新が先送りされていることが要因である。

⑤（経費回収率）類似団体平均値と比較して率が低い50%を下回り、一般会計からの繰入金に依存している状況にあるため、今後は適正な使用料収入の確保及び汚水処理費用の削減を図る必要がある。

⑥（汚水処理原価）類似団体平均値と比較して費用が低く抑えられており、今後も引き続き効率的な運営を図る必要がある。

⑦（施設利用率）類似団体平均値と比較して率は低い。単に過剰投資ということではなく、人口減少・節水機器の普及による一般家庭の使用水量の減少や排水処理施設が整備されている地域が山間部に複数点在しているという地理的条件が要因として考えられる。

⑧（水洗化率）類似団体平均値と比較して高い水準を推移しており、使用料の増収を図るために引き続き水洗化率の向上をに努めていく。

2. 老朽化の状況について

③（管渠改善率）各合併浄化槽の耐用年数を鑑み、施設の最適化対策工事を実施していく必要がある。

全体総括

個別排水処理施設の導入は点在する家庭を集合処理すること比べ初期投資はかなり軽減されているものの、導入地区の人口減少が進んでおり、今後はその維持管理経費についてもより一層の削減に努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。